

とだやしやうどう  
戸田屋正道

# いちご祭り

開催期間 **2/23金祝**・**24土**・**25日**・**26月**  
5時30分閉店 6時閉店 5時30分閉店 6時30分閉店

## 季節の御挨拶

戸田 健一

日頃より戸田屋正道をご愛顧賜り誠にありがとうございます。



例年になく雪の少ない暖冬は春の訪れも早め、ふきのとうや福寿草が、待ちきれず彼方此方に顔を出し始めています。今年は年明け早々に大きな地震や事故が立て続き、あまりお祝いムードとはいかない正月を迎えましたが、雪の下から力強く芽を出す草花の様に自然の力を見習い、万事耐え忍び、新たな希望を見出し、強く次へ進む力に変えていきたいものです。被災された未だ困難な生活を強いられている皆様には心よりお見舞い申し上げ、弊社も可能な限りの支援を続けていきます。

さて、春はお菓子のおいしい季節です。彩り豊かなお菓子が店頭にも並び始め、季節の香りを存分に楽しむ事が出来ます。今回の春の感謝祭は、その中でも、一番人気の高い、苺にフオーカスを当て、苺のお菓子をたくさん取り揃えてご用意致しました。物価高騰で果物類も軒並み値上がり、兆候が続きますが、この機会に皆様にお手頃に楽しんで頂けるよう努めましたので、皆様、足をお運び頂きますようお願い申し上げます。お客様の御来店をスタッフ一同心よりお待ちしております。

イタリア産マスカルポーネと自家製苺ジャム、苺クリームを使い、5つの層のティラミスに仕上げました。

いちごパウダー  
マスカルポーネクリーム  
苺クリーム  
苺ジャム  
スポンジ  
つぶあん

## 苺のティラミス

Spring 春の新商品

通常価格 1個 648円(税込)  
**2/23金→26月まで 1個 594円(税込)**

3/14までの限定販売

大切な方に贈りたい、キュートなもなか!

## 桜塩バターもなか

216円の品  
**1個 194円(税込)**

小豆の最高級品種「丹波大納言」を使った当店自慢の最中に、桜の香りの塩バターと一緒にサンドしました。

特別に仕入れている大粒なあまおうを、たっぷりの生クリームと練乳を使った餡と、ホワイトチョコを練り込んだお餅で包みました。

## プレミアム 苺大福

1,512円の品  
 2個入 **1,296円(税込)**

いちごの王様「あまおう」をまるごと包んだ贅沢な大福

売切御免

贈り物にもぴったりの化粧箱入

とろ焼きの生地に粒あんとなつぷりの生クリームをサンドした人気のエアどらに苺を添えました。

## 苺のエアどら

486円の品  
 1個 **432円(税込)**

定番と食べ比べもGOOD

## エアどら

378円の品 1個 **324円(税込)**

この時期の不動の一番人気いちご大福を特別価格でご提供。どちおとめと自家製ミルクあんの組み合わせはもはや説明不要です。

## いちご大福

346円の品  
 1個 **302円(税込)**

もうすぐ嬉しいひなまつり。戸田屋の菓子でお祝いしましょう!

## 桃節句菓子

桜もち・うぐいす餅  
**238円の品 216円(税込)**  
 桜道明寺 **270円の品 248円(税込)**

人間が好き、お菓子大好き!

品質責任の証

当店では、職部晶策氏(岩波新書「食品を見分ける」著者)の提唱する職部理念に基づいた菓子づくりをしております。お客様に心の底から喜んでいただける徹底した菓子づくりと、お客様の後ろ姿に「どうぞお幸せに」と祈りの販売をすることにより、品性資本を蓄えることを当店の理念としております。

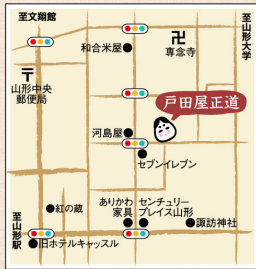
業 道 専 心  
**戸田屋正道**  
 とだやしやうどう

〒990-0032 山形市小姓町1番32号 定休日/水曜日  
 午前9時～午後6時30分(土曜日 午後6時閉店、日曜・祝日 午後5時30分閉店)

TEL.023-622-6728 FAX.023-634-6728

※掲載された価格はすべて税込みの価格です。  
<http://toda-ya.com>

◆コロナ感染症対策を実施しており、混雑状況に応じて入場制限を行っております。◆



戸田屋の駐車場が広くなりました

お客様に大変ご不便をお掛けしている当店の駐車場が、ちょっぴり広くなりました。合計14台のスペースが確保できましたのでまだまだ手狭ではありますが、どうぞお気をつけてご駐車くださいませ。尚、近隣の迷惑となりませんので、路上駐車や当店以外へのご駐車はご遠慮頂きますようご協力お願い申し上げます。





ボタニカルアートを太田洋愛氏に師事する。日本植物画倶楽部会員、ボタニカルアート講師であり、山形県内外で教室を開講。国内外で2人展を多数開催している。

植物を植物学的に正確に、実物大に描くボタニカルアート。写真のない時代に、図鑑の挿絵などのために描かれ始め、現在は鑑賞用としても多くの人に愛されています。日本の第一線でボタニカルアートを描く杉崎夫妻を、山形市の高台にある杉崎ボタニカルアート工房を尋ねました。

Interview おかめふあんくろぶ

植物のありのままの姿を、ていねいに描く

（向）杉崎ボタニカルアート工房 杉崎 紀世彦さん・文子さん

戸田屋のお客様にはなじみをおかがいました。

東京生まれの紀世彦さんは、戦時下に一家で長井市へ疎開。長井市内で就職し、植物が大好きだという白鷹町出身の文子さんと出会い、結婚します。40代半ば、紀世彦さんは会社勤めを終わることにしますが、道端で咲いているドクダミの美しさに心を奪われます。筆を口でくわえて描いた、星野富弘さんの詩と植物画を見て、「自分も絵を描いてみたい」と奮起したのです。学生のころ、絵は得意ではなかった紀世彦さんですが、少しの時間があればペンを握り、植物を描き始めます。植物に詳しく、絵の上手な文子さんのサポートもあり、ついには日本のボタニカルアートの創始者・太田洋愛氏に、二人そろって教えてもらうことができ、植物画の腕を着実に上げていったのです。



おかもめ新聞

早春号



おかもめマークは、創業者のおばあちゃんのお顔絵です。戸田屋正道のイメージにぴったりなので、イメージキャラクターに採用しました。今ではすっかり戸田屋正道のブランドイメージになっています。

毎月18日は 戸田屋の日 毎月その日だけの限定お菓子や、ポイント2倍など、嬉しいイベント満載! ぜひお見逃しなく!



紀世彦さん作品: ①「番薯」 文子さん作品: ②「アオキ」、③「白花エレンデュム」、④「キンセンカ」

紀世彦さんと戸田屋の会長・正宏さんは、ある理事会で知り合ったのだとか。「戸田屋さんのお菓子はネーミングにセンスを感じる。『景気好転まんじゅう』はお持ちすれば話題になるし、『大福五人囃子』は種類がたくさんあって、商売も上手だね」と話してくださいました。コロナ禍が明け、展示会や教室が再開されました。GWには杉崎ボタニカルアート工房にてパッチワークと植物画のコラボ展を予定しています。野山の植物たちに春を感じてみませんか?

隠居日和

隠居 / 戸田正宏

昨年暮れ、山形市民合同音楽祭の案内を偶然目にし、どんな曲が披露されるのだろうかという好奇心なくチラシを見ていたら、合唱組曲「山に祈る」とありました。私は懐かしさのあまり、この音楽祭に出掛けてきました。実はこの「山に祈る」は、私が中学二年の時に音楽の先生がリード鑑賞させてくれた曲です。多感な中学生であった私に、命の尊さを教えてくれた衝撃の曲で、60年近く経った今でも鮮明に記憶しています。

当時は山岳遭難事故が多発しており、社会問題となっていました。そこで長野県警察本部が遭難防止啓蒙のため、遺族の手記を集めて作成した小冊子を元に、音楽家の清水脩さんが作った合唱組曲。ダークダックスがこの企画を持ち掛けたのだそうです。

「お母さん、ごめんなさい」のメロディは思い出す度に熱いものが込み上げます。母の愛、親子の絆、命の大切さを改めて教えてくれました。山形市民合同音楽祭の皆さん、ありがとうございます! しかも、入場無料とは! この紙面をお借りしてお礼申し上げます。

ニューフェイス!

まつもと 莉奈さん 2023年11月入社



販売の仕事がしたいと思い仕事を探しているときに、戸田屋の求人を見つけ、迷わず応募しました。前職で学んだ気配りということを活かしたいと考えて戸田屋で働くことを決めたのですが、先輩方のレベルの高さに驚かされる毎日とても充実しています。まだまだ未熟な中でも、お客様から「ありがとう」を言われるととても嬉しく、やりがいを感じています。今後、少しでも細かいことに気付き、お客様や社員の皆さんにも気配りができるよう成長していきたいと思っております。